

「なぜなぜ分析」はもういらない！ 要因は71、対策は55、ツールは10 「不良ゼロ」への具体的なアプローチ

今まで悩まされていた「慢性不良」を短期間で確実に「ゼロ」にできる新手法

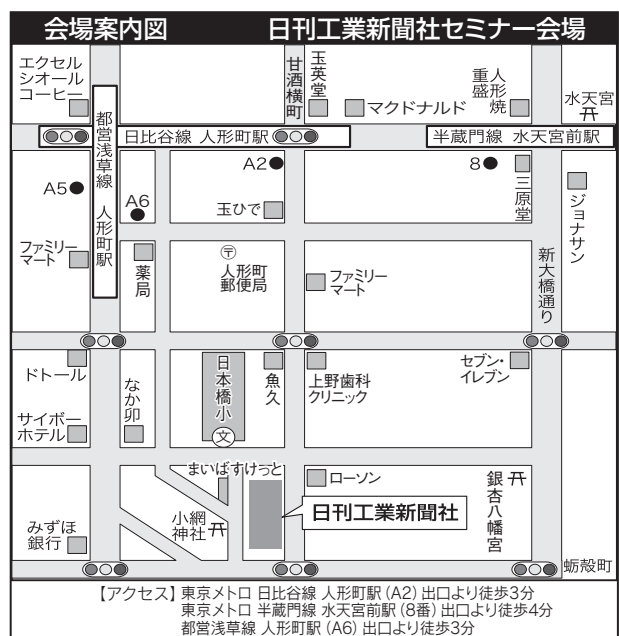
従来の手法に限界を感じている方、不良はゼロにならないとあきらめている方、

「なぜなぜ分析」がうまくいかないと悩んでいる方、改善活動が継続できないと悩んでいる方にお勧めのセミナーです

日時 2019年 **11月12日(火)** 10:00~17:00 **主催** 日刊工業新聞社
(9:30 受付開始、休憩 12:30~13:30)

会場 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム
東京都中央区日本橋小網町 14-1 (住生日本橋小網町ビル)

受講料 **44,000円** (資料含む、消費税込)
*同時複数人数お申し込みの場合2人目から39,600円



日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム

東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

【アクセス】

東京メトロ日比谷線『人形町駅』A2出口 徒歩3分、都営浅草線『人形町駅』A6出口 徒歩3分

東京メトロ半蔵門線『水天宮前駅』8番出口 徒歩4分

※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。

※講義の録音・録画は固くお断りいたします。

●申込方法

申込書を郵送又はFAXにて下記にお申し込みください。ホームページからお申し込みできます。(http://corp.nikkan.co.jp/seminars/) 受講料は銀行振込で受講票及び請求書が到着次第、開催日1週間前までにお支払いください。

なお、キャンセルにつきましては開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。振込手数料は貴社でご負担願います。

口座名義	りそな銀行	東京営業部	当座	656007
株日刊工業新聞社	三井住友銀行	神田支店	当座	1023771
	みずほ銀行	九段支店	当座	21049
	三菱UFJ銀行	神保町支店	当座	9000445

●申込先 日刊工業新聞社 総合事業局 教育事業部 技術セミナー係

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215

e-mail : j-seminar@media.nikkan.co.jp

受講申込書		11/12 不良ゼロ		お申し込みは FAX 03-5644-7215	
■受講料：44,000円 (資料含む、消費税込) *同時複数人数お申し込みの場合2人目から39,600円				※振込手数料は貴社にてご負担ください。	
会社名	フリガナ	業種			
氏名	フリガナ	TEL			
	部署・役職	FAX			
所在地	〒				
	E-mail :	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/> チェックをしてください。			

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。

No.190361

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。

なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

開催主旨

不良がゼロにならないのは、**原因と対策がわからない**からです。本セミナーでは、**不良の要因を71、対策を55**と定義しています。それにより、「**なぜなぜ分析**」は不要になります。

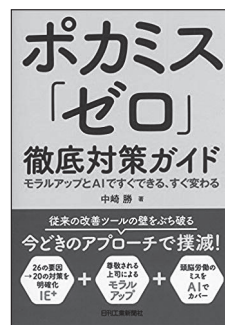
また、不良の発生要素である異物、設備、作業に対し、「**現物分析→データ分析→工程限定→原因限定→メカニズムの解明→根本対策→継続のための効率化→要素管理**」という一連の解決手順をパッケージ化した**10のツール**を紹介します。

10のツールにより、不良改善が確実かつスピーディーにでき、**原因のわからない不良もゼロにすることができ**、各ステップをたどることにより、論理的思考も身に付きます。

更に、改善活動が継続できない、現場のモラルとスキルが低いと悩んでいる方のために**モラルアップ8つの施策、尊敬される上司の7原則**を紹介します。

本アプローチは、講師の27年間のコンサルティングの経験則によって生み出されたものであり、現在も実際のコンサルティングで使い、磨き続けているものです。

本セミナーを受け、不良ゼロの醍醐味をぜひ味わって下さい。



進呈!
(講師著書)

講師

株式会社ロンド・アプリウェアサービス **中崎 勝氏**

【略歴】 1981年、ブリヂストンに入社。設備設計と保全業務に従事。1987年に日本DECに移籍し、システム及びAIの開発に従事。1992年、ロンド・アプリウェアサービスを設立。製造業を中心としたコンサルティングで多くの成果を上げる。不良ゼロを可能にする実践アプローチにもとづく指導方法に定評があり、国内メーカーに加え、海外メーカーなどでも大きな改善効果を上げている。また、ものづくりに特化したIoT/AIセミナーも数多く実施しており、改善とIoT/AIを融合したこれからの時代の新手法を提案している。

プログラム

1. 不良ゼロの9原則

- ・ 原則 - 1 : 不良は結果
- ・ 原則 - 2 : 不良の要因は71 : 最強の魚の骨
- ・ 原則 - 3 : 不良の対策は55
- ・ 原則 - 4 : 改善ツールは10
- ・ 原則 - 5 : 要素別改善 : 原因不明の不良対策
- ・ 原則 - 6 : 3つのデータ分析
- ・ 原則 - 7 : 発生工程を見つける
- ・ 原則 - 8 : 現物・現場 : 要因から原因を限定
- ・ 原則 - 9 : 現象の連鎖 : 難解のメカニズムだから、「なぜなぜ分析」はもういらぬ
- ・ 10のツールを使った不良ゼロへのアプローチ

2. 異物ゼロへのアプローチ

- ・ 異物は感性
- ・ 異物不良発生のメカニズム
- ・ ステップ-1 : 異物の正体
- ・ ステップ-2 : 工程限定
- ・ ステップ-3 : 伝達経路対策
- ・ ステップ-4 : 徹底清掃
- ・ ステップ-5 : 発生源対策
- ・ ステップ-6 : 清掃改善
- ・ ステップ-7 : 異物管理

3. ポカミスへのアプローチ

- ・ ポカミスの特徴となくなる理由
- ・ 20の要因と発生メカニズム
- ・ 20の対策と6つの考え方

- ・ NG/OKシートでポカミスの80%はなくなる
- ・ ポカミス教育で教える現場の鉄則
- ・ ない標準を作る、ある整備を整備する
- ・ これからの時代に必要な教育・訓練のしくみ
- ・ 作業者思いのうっかり対策
- ・ 整理・整頓によるうっかり対策
- ・ 検査ミス、入力ミス、判断ミスへのAIの活用
- ・ 理想の職場の実現

4. キズゼロへのアプローチ

- ・ キズは結果
- ・ 個別対策と総合対策

5. モラルアップへのアプローチ

- ・ モラルとは、モラルの実態
- ・ モラルアップへのアプローチ
- ・ 尊敬される上司になる
 - ①尊敬される上司の7原則
 - ②嫌われる上司
- ・ モラルアップ8つの施策
 - ①率先垂範
 - ②やる意味を教える
 - ③目標を与える
 - ④成功させる
 - ⑤ほめる
 - ⑥一緒に考える
 - ⑦ワークショップ
 - ⑧毅然と接する
- ・ 人は環境の生き物